

ながの環境パートナーシップ会議  
平成22年度第3回 幹事会 会議記録

**I 日 時** 平成22年7月2日（金）18時から20時30分

**II 場 所** 会議室10（市役所第二庁舎6階）

**III 出席幹事** 7人

（弓場、高木、金井、渡辺、中村、安藤、水野）

**IV 欠席幹事** 0人

**V 会議内容**

- 1 プロジェクトチームからの活動報告等
  - ・ 太陽エネルギーチームから6月14日のミーティングの内容と7月11日のイベントのお知らせ
  - ・ 食品トレイ・レジチームから6月15日のミーティングの内容
  - ・ 環境総合センター設置チームから、6月20日の学習会の報告
  - ・ 市民の森づくりチームから6月の活動について報告

\* 安藤幹事から生ごみチームの標語募集(7月1日広報ながの)について、ハガキで生活環境課へ応募、8月20日締めきり、9月にチームで審査をし、最優秀賞1点、優秀賞2点、賞金をだす予定。ほか、視察を予定している。

\* 弓場代表幹事から、学校版EMSチームが7月9日に学校版の認定審査を行う。
- 2 新規プロジェクトの予算配分について(詳細はVII主な質疑等参照)
  - ・ スキー場跡地の自然復元プロジェクト  
広報リーフレット作成配布の104,000円と圃場借地料及び管理料90,000円以外は予算として計上する。(計80,000円)
  - ・ 子どもの環境学習支援プロジェクト  
交通費として20,000円を予算として計上する。
  - ・ ウェザーステーションプロジェクト  
屋上気象観測機器セットの220,849円を予算として計上する。  
以上、総合計320,849円を新規プロジェクト活動費500,000円から流用し、支出します。
- 3 信州環境フェアの参加について
  - (1) チームからの参加希望状況⇒生ごみ、水環境保全、太陽チームから参加しない旨連絡があった。他のチームからは連絡なし。
  - (2) 当日配布のちらしの内容検討⇒カラーで印刷、表の内容は線が多いので直す。  
手をつないでいる絵は、今回はこのまま、今後デザインを検討する。
  - (3) ブースの利用方法⇒スペシャルプロジェクトチームを作り、検討していくことになった。(担当幹事：渡辺（リーダー）、弓場)
- 4 排出権取引ワークショップについて  
小山監事から提案説明があった。会員優先のワークショップを開催する。9月11、12日ころ開催予定。9月1日の広報ながので募集、9月8日までに環境政策課へ申し込みする。会員は無料、会員以外は500円もらい、来年5月までの会員の権利をつける。
- 5 ニュースレターNo.21発行について

9月20日ごろ発行予定。9月5日のながの環境フェアの内容も掲載する。寄稿コーナーでは、エコサークルの事業者に声がけして寄稿いただけるようお願いする。フォト報告では、生ごみチームのゴミ収集車にポスターを貼っている写真も載せたい。

#### 6 会費の納入について

チームに入っている会員は、チームリーダーにとりまとめてもらうが、チームに入っていない会員は、通知文を送付して、現金を事務局にお持ちいただくか、口座への振込みでお支払いいただくようお願いする。振込み用に手数料の安い郵便局の口座を開設できるよう、検討する。現金でお支払いいただいた場合、会員一人一人に領収書をお渡しする。

#### 7 2007年プロジェクトの見直しについて

各チームには今までの活動の見直しをお願いする。目標(数値など)について今年度中に着地できそうか、来年度以降どうするか。

#### 8 新会員承認について

4名申し込みがあり、全員承認された。保険手続きを行う。

#### 9 その他

- ・ 小山監事から、予算の支出についてお話があった。予算は項目ごとでいくらの支出にするか決められている。(例えば、講師謝礼〇〇円)など。支出理由と金額が予算どおりでないときは、幹事会に諮る必要がある。予算どおり支出しているか、気をつけていただきたい。(なお、いくつかのチームから申し出があり、予算が細かく分かる表をお渡ししました。必要なチームは事務局までご連絡ください。また、支出について不明な点はなんでも事務局にお聞きください。特に、運営費は安易に支出することがないように、領収書なども何を、いつ、どこから購入したものか、分かるようにまとめておいてください。)⇒この話を受け、弓場代表から会計の複式簿記化についても提案があった。来年にむけて、今年から準備をしていく。
- ・ 小山監事からホームページについて、今のサーバの容量が少ないので、引越しをしたい。今のレンタルサーバのドメインが個人所有になっているので、次のところは団体名で登録、連絡先を変えられるようにする。今の「nagano.ep.net」のまま引越せればいいが、だめならアドレスも変えるようになる。すると、今のep.netをそのままにしておいて、「引越しました」というお知らせをするようになる。すると、その部分余計にお金がかかる。今のところは年額1万円くらい、今度のところは年額6000円くらい。容量は今の20倍になる。アドレスが変わるかもしれないことと、この1年だけは重複してお金がかかるかもしれないことを了承いただきたい、と話しがあり、幹事会で了承しました。
- ・ 水野幹事から環境総合センター設置について、第一庁舎建設にあわせてP会議として提案したらどうか、という提案がありました。この件はスペシャルプロジェクトを立ち上げ、7.8月に検討し、9月に提案することになりました。

## VI 今後の日程等

### ◎幹事会

- (1) 日時・場所：8月2日(月)18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)
- (2) 内容：プロジェクトチームの活動状況報告、信州環境フェア・ふれあいまつりの参加について、排出権ワークショップについて・ロゴマーク募集ほか。

## Ⅶ お知らせ

- 7月24～25日、丹波島第二公民館にて「お泊り交流会」を開催します。  
午前10時30分から25日11時まで。ソーラークッカー製作、環境にやさしいお店調べなど(子どもの環境学習支援プロジェクト)

## Ⅶ 主な意見・質疑等

### 1 プロジェクトチームからの活動報告等

- ・20日の学習会の温度計32本は持って帰ったのか。  
⇒参加者が持ち帰り、温度を計ってもらう。事務局に提出してもらい、その集約はチームで行う。(ウェザーステーションチームで)
- ・環境総合センター設置プロジェクトについて、第一庁舎をこれから建てるが、そこに総合センターをいれるというアイデアや提案は出来るか。プロジェクトでどこまで検討しているか分からないが、今ワークショップをやっているが、そこに入ったり、P会議として提案してもいいのではと思う。実現するかどうかは分からないが。  
⇒清掃センター建て替えて、そこに、という話しもあった。  
⇒清掃センターは、チームとしては希望を出していない。チームとして出したのは「もんぜんぷら座」だけ。いろいろ図面書いてプレゼンしたが、いろいろな施設が提案されたが、検討委員会で全部ひっくりかえされた。  
⇒チームで検討してもらうのは？  
⇒チームリーダーも言っていたことだが、このセンター設置の問題は、パートナーシップ会議全体で考えなければいけないことだと思う。チームの人数も少ないし。提案するのであれば、かなり内容を検討して、今の時代にあったものにしないと。もんぜんぷら座のときは、リサイクル関係のものが多かった。  
⇒タイミング的にはいつごろ提案しないといけないか。  
⇒2月に基本構想が出来て、市民会館をどうするか今問題になっている。あわせて第一庁舎の機能をどうするか、何をいれるか庁内で検討中。  
⇒清掃センターはもう考えないのか。皆が行きやすいのではないかと思うが。  
⇒チームとしては考えていない。  
⇒では、どのように検討していくか。チームに構想をあげてもらうか。  
⇒チーム自体を組みなおさないか。  
⇒チームリーダーの田中さんにこの話しをして、秋ぐらいまでのスペシャルプロジェクトを作って、具体的な提案ができる体制を作らないと、3月になって提案では遅すぎる。今は建物がない状態だから、この機能が欲しいというのを早く出さないか。生涯学習センターにこれから大きいスペースをとるのは無理だから。  
⇒今チームは休眠状態ですから。  
⇒いつまでに提案すればいいか。2ヵ月後でもいいか。  
⇒基本計画はもっと後か。2ヶ月なら十分だと思う。
- ・皆さんの反対がなければ、スペシャルプロジェクトを設置するという事でよろしいか。  
⇒反対無し。承認。メルマガで会員にお知らせして、センター設置チームの田中リーダーに話してチームとして参加してもらおう。ウェザーステーションチームにも呼びかける。幹事の担当は高木、渡辺幹事。

### 2 新規プロジェクトの予算配分について

- ・圃場管理料について、種はどうするのだろうか。  
⇒どんぐりを拾ってまくという話があったような気がするが。  
⇒秋までは圃場はいらないのでは。1アールで30,000円もするものなのか。随分高い気がする。  
⇒平地の田んぼで農業公社からかりてるのが1たんぶで7,000だった。管理料が高いのか。

- ⇒草取りなどの管理なら、メンバーでできればいいのでは。秋以降になればそんなに大変ではないだろう。来年は分からないが。
- ・リーフレットの配布先について、全部一度に配布するのか。必要ないところも(児童生徒の部分)
- ⇒大岡の戸数はどのくらいか。1000戸くらいか。
- ⇒地元の合意が完全に出来ていない状況でどのように広報するのか。
- ⇒種蒔きや野焼きなどの講座・イベントに市民参加を促す広報であれば、HP や市の広報で参加を呼びかける方法も考えられる。
- ⇒大岡でこのプロジェクトをやるということを広報するのであれば、まず大岡で周知して、盛り上がってきたところで広げていくのがいいのではないかな。
- ⇒ある程度形になったものを広報していくほうがいいのではないかな。
- ⇒送料はどういう意味か。
- ⇒大岡の中や小・中学校など公的ルートを通して配れるもの以外なのではないかな。
- ⇒とりあえず、大岡全戸と小・中学校に1部ずつで2,000~3000枚くらいならいいと思うが、あと盛り上がってきたら小・中学校全児童にお知らせするようにすれば。予算的にきびしいので、それでどうかリーダーに聞いていただいて。配布先をしぼったり、別の広報の方法を考えていただければありがたい。
- ⇒有休農地や耕作放棄地など、圃場として使えるかどうかとも検討していただければ。
- ⇒学校で鉢とかにどんぐりを植えるとか、そういうこともやれば学校との交流もできるのではないかなと思う。先生が大変かもしれないが。大岡だけでなく、市内の小学校でも。
- ⇒では、広報については、スタートはもう少ししぼって広報していただいて、あとでプロジェクトが盛り上がってきたところで市内全域に広報するときは、リーフレットだけでなく、他の広報の仕方も考えていただきたい。リーフレットを作成するときは、関係部署と十分調整していただいて。これらのことを検討いただき、再度配布場所や枚数の検討をお願いしたい。圃場については、借地料・管理料の内容をもう少し明確にさせていただき、次回の幹事会にお出しいただきたい。その他の予算については承認とする。
- ・ウェザーステーションは、百葉箱は作る方向で考えていただいて。
- ⇒材料費はあとでかかってくるかもしれない。
- ⇒木材だったら市民の森で製材する。秋に製材する日がある。材料の大きさだけ教えてもらえれば。
- ⇒百葉箱はもしかかってくるものがあれば別途相談してほしい。

### 3 信州環境フェアの参加について

- ・折り紙プロジェクトは、P 会議で参加するということになると折り紙を送ってくれるのか。
  - ⇒それは無い。自費で購入する。
  - ⇒チームで出すところがないのであれば、組みあわせてできれば。
- ・パートナーシップ会議という組織として出展するのか、チームとしてなのか、その概念が大事では。組織としてであれば、チームをそんなに考えなくてもいいかもしれない。
  - ⇒最初 P 会議でパネル展示だけしていたが、人が集まらなかったから、各チームで工夫して出せないか、と3. 4年前から今の出展方法になった。
  - ⇒チーム参加が出来ないとなれば、誰がそれを担っていくかが問題になる。
  - ⇒これもプロジェクトでやったらどうか。
  - ⇒人が集まるかどうか。チームでやれば自分のこととして考えてくれるからいいが。
  - ⇒信大の地域環境演習の学生に投げかけてみるのはどうか。ゲームを作ったり、当日参加してもらったりというのをスペシャルプロジェクトでやるよと声をかければ。各チームが何をしているのかわかるから、無駄にはならないと思う。
  - ⇒フェアに出るにあたり、P 会議としてどんなテーマで出展するのか、そのテーマによって各チームの活動での切り口で展示していくのか。

- ⇒それはなかなか難しい。
- ⇒折り紙は安茂里小7年1組で折り紙教室をしていた人がいるので、連絡ししてみる。
- ⇒先生の来る時間を決めておいて、その時間だけ先生がくることにしないと、一日やっているのは大変。
- ⇒チームの活動がどんな成果があるか分かるようにするのはどうか。
- ⇒数値化は出来ると思うが、表現が難しい。
- ⇒みどりの市民の企画と事務局のをあわせて考えたらどうかと思うが、展示パネルの点検は誰がやるか。パネルはチームが持っているのか。
- ⇒パネル自体は倉庫にある。中身はチームでワードで持ってるはずなので、内容を確認してもらえれば。
- ⇒できればパワーポイントに直してもらえると、ビジュアル的にはいいものになる。
- ⇒内容については、スペシャルチームで日常生活の地図上にチームの活動をおとすこと、体験とゲームを作ってもらい、あつまってもらった人にどちらがいいか分かれてもらえれば。
- ⇒では、信大には来週連絡し、再来週の頭には連絡くれるようにする。
- ⇒もし、今年これでうまくいかなければ、演習の募集のときに信州環境フェアのスペシャルプロジェクトについてもお話してしまったほうがいいかもしれない。
- ⇒会員募集はどうか。難しいから今年できなければ来年でもいいし。
- ⇒興味がある活動や今の生活に足りないものをあぶりだすような、そういうのをパソコン上でゲーム感覚でできればいいのではないかな。すごろくのようなものとか。難しいものでなくて簡単にできるようなもので。
- ⇒今まで出たものを全部出来るかどうか分からないが、リーダーを決めて、その人に裁量を与えてどこまで出来るか考えていければいいのでは。
- ⇒リーダーは渡辺さんに決定。
- ・ レジ袋の関係で、千曲川流域レジ袋削減推進協議会というのがあり、その協議会で信州環境フェアに出たいと申し込んだが、一度断られた。そういうこともあるので、ブースは大事に使いたいもの。
- ・ チームの参加については、まだ連絡いただいていないところもあるので、事務局でプッシュしてみる。
- ・ ちらしの内容について、レイアウトなどは練り直し、ロゴマークはとりあえずこのままで、次回の幹事会で、ロゴマークの募集について検討する。

#### 4 排出権取引ワークショップについて

- ・ ワークショップをやって、それがうまくプロジェクトにつながれば、という提案。予算も20,000円くらいで前にあげてもらっていたか。
- ⇒4月のワークショップでその位だったと思ったので。
- ⇒会場を信大工学部とかにすれば、ほとんど無料になる。
- ⇒前回のワークショップのときに、あまり人が集まらなかった。テーマが難しいので、人は少ないかもしれないが、集まったメンバーでやればいいのではと思う。勉強会という感じで。どこまで広報するかが問題。
- ⇒前回は漠然と「新規プロジェクト募集」にしたからみんなとりとめもなく参加出来なかった。今回はテーマが具体的で、日常生活より半歩先にいった内容なので、プライドをくすぐって、いいのでは。
- ⇒たとえば、長野市に環境学習リーダーがいるので、そこに案内すれば半分はくると思う。
- ⇒では、ワークショップをやることは、よろしいか。
- ⇒主催はp会議で。チームは関係なく。予算はどうか。
- ⇒予備費もとってあるが、資料代くらいだし、会場は探せば無料のところがあると思う。
- ⇒やることについては承認された。どういうところに広報していくか。いつごろ、どこで、だれがまとめていくか。

- ⇒会員はもちろん、市民にもお知らせしていくか。環境学習リーダーも市民対象で呼びかけした。
- ⇒市内の事業者、14001事業者やエコサークルの業者へは？
- ⇒P 会議の中でも、声をかければ30人くらいは集まるのではないか。
- ⇒会員優先でやってみるか。足りないようなら他に声をかけるとか。
- ⇒定員30名というのはなぜか。
- ⇒ワークショップなので、このくらいが限度。ファシリテーターをつけなければならないので。
- ⇒だれを対象にという話で、今年から会費をもらうことになったので、特典ではないけど、そういう感じでやってもいいのではないか。
- ⇒会員限定でやるなら、フォーラムみたいなものをのせてもいいか。
- ⇒フォーラムは絶対やらなくてはいけないものではないので、やらなくてもいいと思う。
- ⇒会員は無料、会員以外は500円で来年5月までの会員の権利もついてくる、というふうにすれば、会員募集の機会にもなる。
- ・ ちらしの内容は、もっと具体的に、知らない人が分かるような言葉にしたほうがいいと思う。
- ・ 広報は9月1日号でお知らせ。すると締め切りは8日くらいか。当日受付OKにするとワークショップが開けなくなるおそれもあるか。申し込み先は環境政策課でいいか。
- ⇒よい。広報の掲載内容については、小山さんと相談しながら作成する。

## 5 ニュースレターNo.21発行について

- ・ ニュースレターの性質上、チームの活動報告が中心にならざるをえないのだが、できれば、もっと幅広い記事や、長野市全域を網羅するような記事を書かせていきたい。関連団体でのせてもいいというところがあれば、企業の担当者のメッセージとか。
- ・ タイムスケジュールは大丈夫か。
- ⇒ながの環境フェアをいれるなら、20日くらいにしたい。

## 6 会費の納入について

- ・ チームに入っていない会員はどのくらいいるのか。
- ⇒個人では11人、あと団体会員もいるので、20位。
- ・ 郵便局に払い込みが出来るように出来るか。普通だと手数料がかなりかかる。郵便局だとATMで80円。そのくらいの配慮はしたい。
- ⇒手続きについて、検討する。

## 7 2007年プロジェクトの見直しについて

- ・ 今の数値目標が、進捗状況を把握しにくい目標になっている。理想と自分たちの活動がその数値で測れるかというのもあるし、どちらにしても見直しは必要。
- ⇒とりあえず、各チームに注意喚起で、見直すことになったので、アジェンダ21のプロジェクトの活動計画について見なおしてほしい旨を投げて、幹事会では全体の整合性を次回以降から見直すことでいいのではないか。
- ⇒22年度までは決まっているから、23年度以降ということか。
- ⇒そのとおり。いままでの反省もしなくてはいけない。アジェンダの見直しをしなければならぬ。
- ⇒2007年に作った目標がどこまですすんでいるか把握したうえで進まない。前回までのがいいのか、悪いのかの反省も。